令和７年度

# 下田市ニューポート市訪問団 中学生報告

下田市と姉妹都市締結を結ぶアメリカ合衆国ロードアイランド州ニューポート市へ、山田教育長を団長とする訪問団７名を 10 月 21 ～ 28 日の期間で派遣し、公式行事等に参加しました。

訪問団として派遣された下田中学生４名の訪問記を紹介します。

今回のニューポート市訪問が決まった時、初めて海外へ行けることにワクワクしました。しかし、英語を使って会話することやアメリカの文化に馴染めるかどうかが心配でした。実際に行くと、自分の予想以上に大変なことが多く、一日目は精神的に疲れてしまいました。しかし、時間とともにアメリカの地に慣れていき、スーパーで買い物をし、地域の人と関わった結果、だんだんと初めての経験が楽しく感じてきました。

自分は英語を勉強中で、まだコミュニケーションをとれるくらいの能力はないと思っていました。しかし、実際に会話してみると、思いの外理解することができました。それらの経験をしたことで自分に自信がつき、自分から英語を話すことができました。

ニューポートは本当に治安が良く、景観も綺麗で美しい町でした。ニューポート市役所の方々に温かく迎えられ、ニューポート市訪問の清々しいスタートができました。せっかく来たのだから、悔いのないよう自分にできること、吸収できることはたくさんしようと心がけて過ごしました。

ニューポートでは、訪問のスケジュール以外に、サッカー観戦、ドライブ、ゴルフ、飲食店巡りなど、たくさんの興味深い経験をさせてもらいました。これらの経験をさせてくれたホストファミリーの皆さんには本当に感謝しています。

今回のニューポート市訪問では、主に二つの事が学べました。一つ目はどんなに不安や心配があっても、抱えながらでいいから、とりあえずやってみること。二つ目は聞くだけより実際に経験した方が100倍楽しいことです。僕はこの二つのことを含め、ニューポート市訪問で得られた経験を大切にして、これからの人生に活かしていきたいと思います。今回のニューポート市訪問の関係者の皆様、貴重な経験をさせてくださり、ありがとうございました。

西田　晴智さん

今回のアメリカ訪問は私にとって初の海外でした。初めて飛行機に乗り、約12時間のフライトを経て、ニューヨークに到着しました。まず印象に残ったのは、ニューヨークの街のスケールの大きさです。日本とはまた違う、数多くの高層ビルやお店が並ぶ景色に感激を受けたのを覚えています。

二日目に訪れたニューヨーク市立大学では、緊張していた私にたくさんの大学生が明るく話しかけてくださり、さまざまな話をすることができて、初めはうまく話せるか不安なこともありましたが、とても楽しかったです。また、三日目の午前中にウォール街やグラウンドゼロを訪れました。アメリカの歴史を直接見て感じることができました。

二日目の午後、ニューポートに移動し、三日間ホームステイをしました。ホストファミリーの皆さんは、とても明るい方で、私たちを快く受け入れてくださり、スーパーマーケットやニューポートのビーチなど、様々なところへ連れて行ってくださいました。ホームステイをする中で、英語の意味が分からないことがありました。ですが、翻訳のアプリを使ったり、簡単な英語でゆっくり話したりしてくださり、楽しくコミュニケーションを取ることができました。

今回のアメリカ訪問で、何よりも現地の方とたくさんのコミュニケーションを取れたことが一番の思い出になりました。英語を話すことの楽しさや、日本との文化の違いなど、たくさんの気づきがありました。私はもともと英語が好きだったのですが、これを機にもっと外国について学びたいと思うようになりました。何もかもが新鮮で、とても楽しかったです。このような貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

石原　すみれ　さん

10 月 26 日
ペリー提督の墓参

10 月 22 日
ニューヨーク市立大学訪問

10 月 24 日
ニューポート市長表敬訪問

今回のアメリカ訪問では、初めての体験や新しい発見がたくさんありました。ニューヨーク市立大学を訪問したことや、ニューポートのホストファミリーと過ごした時間は、私にとってかけがえのない時間となりました。そこで特に感じたのは「文化の違い」です。

ニューヨーク市立大学で学生さんと交流する場面では、日本語はまったく通じず、とにかく英語で喋ろうと奮闘しました。食事中も、私は片言の英語で話していく中で、ふと「アメリカは食事を楽しむというより、会話を楽しむ文化」だと、ホストファミリーと食事をしたときも同じように感じました。今まで何とも思っていなかった、日本の「食事そのものを楽しむ」という文化との違いに気がつきました。

ニューポート市で最初に感じたのは、アメリカ人の「愛国心」です。住宅街では、多くの家で常にアメリカ国旗を揚げており、車のステッカーやレストランの看板にも国旗が描かれていました。日本では、祝日に国旗を掲げる家庭がちらほら見られる程度ですが、それでも愛国心がないわけではありません。

また、ホストファミリーと接していく中で、アメリカ人は周りに流されず、自分の意思をしっかり主張していて立派だなと思うと同時に、自分の主張は後回しにして、まずは相手の意見を尊重する日本人の奥ゆかしさも、それはそれで良いものだなと感じました。

他にもたくさんのことを学び、様々な経験をすることができました。このような貴重な機会をくださった下田市の皆様にとても感謝しています。これからの学校生活や将来に、日本とアメリカのそれぞれの良いところを自分のものとしながら、活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

渡辺　瑠美奈　さん

私にとって今回の訪問が初めての海外でした。行く前は、コミュニケーションが取れるのかという不安が大きかったです。

ニューヨークやボストンでは、仕事をしている時にガムを噛んでいる人が多く、日本との違いを感じました。

ニューポートでは、ホストファミリーとの会話で、英語が聞き取れなかったり、「いただきます。」を言わないので、食べるタイミングが分からなかったり、お風呂の時間や就寝時間が分からなかったりと、困ったことがたくさんありました。けれど、迷っていたら笑顔で話しかけてくれて、丁寧に教えてくれたので、不安な気持ちはすぐになくなりました。

ホストファミリーは、私の好物を毎日出してくれたり、朝一緒にドーナツを買いに行ったり、いろいろな海に連れて行ってくれたり、ハロウィンの飾りが豪華なところへ連れて行ってくれたり、物だけでなく、思い出や経験など、たくさんのものをくれました。食べ物もお店の大きさも日本とは全く違うので、驚きがたくさんありました。また、ハロウィンも同じ行事だけれど、お菓子をもらいに行ったり、仮装をしたり、家の周りを飾りでいっぱいにしたりと、初めて見る景色ばかりでとても楽しかったです。

お別れの時には、ホストファミリーのパパが「私達はずっと家族だし、あなたが大人になっても、ここはあなたの家だからいつでも帰ってきてね。」と言ってくれて、幸せな気持ちでいっぱいになると同時に、寂しさが一気に込み上げてきました。

この一週間で、文化の違いは知っていても、実際に行って体験してみないと本当の違いや良さは分からないと学び、世界は広いけれど、心は一つだと知ることができました。

本当にありがとうございました。

樋口　一葉　さん